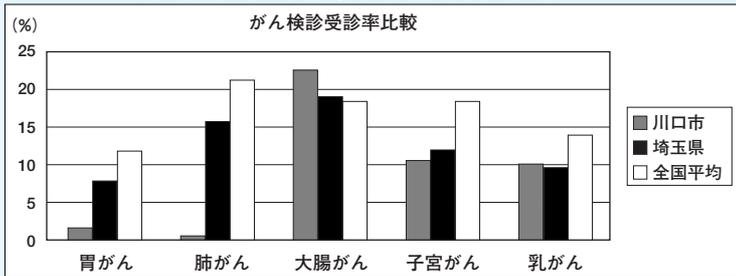


すこやか生活習慣

☆あなたは毎年、がん検診を受けていますか？(パート2)

＜川口市・埼玉県・全国平均の、がん検診の受診率比較＞



〔平成19年度基本健康診査・がん検診の実施状況：平成19年度地域保健・老人保健事業報告の概況（厚生労働省）「平成20年版川口市の保健福祉」より抜粋〕

上のグラフは、がん検診受診率を川口市・埼玉県・全国平均で比較したものです。埼玉県と川口市は、ともに全国的に見ても、大腸がんを除くがん検診の受診率が全体的に低い状況にあります。また、がん検診後の精密検査でも、受診率は低い状況です。

がんの種類は違っても、「早期に発見して早期に治療すれば治る」ということは共通しています。早期にがんを発見するには、定期的に検診を受けることが何より大切です。がんは、初期のうちはほとんど自覚症状がありません。そのため、検診で偶然に発見されることも多く、ポリープや他の病気が見つかることもあります。

市では、7月から各種がん検診がスタートします。現在、市のがん検診は、スクリーニング検査（がんの可能性を見つけるための検査）であり、がんが疑わしければ精密検査を勧奨しています。精密検査を受けることで、初期の段階のがんであっても発見することができます。

年に1回、定期的に検診を受けること・精密検査が必要な時は放置しないことが大切です。今、健康であると感じているかたこそ、がん検診を受けましょう。

（*がん検診は無症状のうちに検査を行い、がんを早期に発見して治療することを目的としています。何らかの兆候がある場合は、市の検診を待たずに受診をしましょう）

子育て支援

みんなであそぼう

年齢に応じた楽しいあそびを親子で楽しみましょう。子育てに関する親子講習もあります。

対象…おおむね1歳（歩行完了児）～3歳の幼児と保護者

持ち物…上ばき・手ふき・着替え・ビニール袋*飲み物は各自でご用意ください。

*水着（プール用の紙パンツ）をお持ちください。

場所	月	1歳児(15組)	2～3歳児(15組)	時間
南青木保育所	8月	4日(火) 水遊び・プール遊び (水遊びの玩具を作ろう)	5日(水) 水遊び・プール遊び (水遊びの玩具を作ろう)	9:30 11:00
			6日(木) 水遊び・プール遊び (水遊びの玩具を作ろう)	

●参加申し込みは1カ月1回となります。

*申し込み・問い合わせ…子育て支援センター

南青木保育所 ☎251-7249 / 受付時間 月～金曜日13:00～16:00

戸塚西保育所 ☎298-4952 / 受付開始 7月6日(月)から

園庭開放

7月15日(水)・16日(木)です。

申し込みなしの自由参加です。雨天の場合は中止となります。

時間…9:30～11:00(受付は9:30～10:00です)

*8・9月の園庭開放は、お休みします。

育児相談

日時…毎週月～金曜日 13:00～16:00

場所…南青木保育所 ☎251-7261 戸塚西保育所 ☎295-0930

※次の場所でも「子育て親子の交流の場の提供」「子育てに関する相談」「子育て情報の提供」を毎日実施しています。また講座などのイベントもあります。詳細は各保育園に問い合わせください。

●川口駅前保育園地域子育て支援センター(川口1-1-1) ☎222-6011

●川口こども園(安行領根岸1291) ☎286-0069

●キッズプラザアスク東川口保育園(戸塚4-21-1) ☎298-0083

健康ガイド

ワンポイントアドバイス

「低身長」

川口市立医療センター小児科

医師 高澤 啓



当科内分泌外来で最も多い相談が、身長に関するものです。

医学的な低身長症の定義は、同年代の平均身長から標準偏差(SD)を用いて算出した「-2SD以下」とされます。また、現在の身長に加えて成長率(1年間でどれくらい伸びたか)も重要な情報であり、成長の経過は「成長曲線」を用いて評価します。昨今、メディアでも取り上げられ、一般のかたでも比較的容易に手に入るようになってきました。

身長の伸びは遺伝的要素の影響も大きく、低身長の大半は体質性、すなわち本人の個性と言える範囲内ですが、中にはまれに内分泌疾患(特に成長ホルモンや甲状腺ホルモンの異常など)やそのほかの基礎疾患が見つかることがあります。まずは成長曲線を作成し、出生前後からの成長の経過、病気の有無などに加えて、家族の身長や成長の経過などを聞き、必要に応じて検査を行っていきます。

最初に行う検査として、血液検査と尿検査のほかには手の骨のレントゲンを撮ります。血液検査・尿検査によって、身長の伸びを阻害する要因がないかを評価します。また、レントゲンによって「骨年齢」、骨の成熟度が何歳相当かを評価します。初期検査で何らかの異常が疑われる場合、さらに精密検査を行います。

前述したように、多くの低身長は個性の範囲内であることが多いですが、心配な場合には、生まれてからの身長・体重の経過がわかるもの(母子手帳や学校健診の記録など)を持って受診されることをお勧めします。